雪氷研究大会・講演要旨集フォーマット

一副題はここに一

○雪氷太郎1,雪工次郎2,大雪花子3

1. はじめに

この文書は雪氷研究大会の講演要旨集のフォーマット(ひな形A) です.

2. 原稿執筆要領

2.1 内容

予稿には、研究の目的、方法、結果を明確にわかりやすく記述し て下さい. 記述が不十分なものは掲載を認めない場合があります. 学術誌ですから企業などの宣伝行為と見なされないように表題、本 文, 図表, 写真の表現に注意して下さい.

2.2 用紙

予稿はA4判用紙1ページで作成して下さい. 大会ホームページか らひな形(MS-Word形式)をダウンロードしてお使い下さい. 本大会 では、2段組と1段組の2種類の書式を用意しています. お好みの書 式をお選び下さい. また各々の書式について, 著作権表示が日本雪 氷学会のものと日本雪工学会のものを用意していますので、著作権 を移譲したい学会のひな形をお使い下さい.

2.3 原稿の書式

余白は変更しないでください. ひな形Aは、本文は2段組で作成し て下さい. 段間のマージンは2文字分とします. 使用するフォントは演 題や見出しはMSゴシックやArialなどのゴシック系を、本文その他に はMS明朝やTimes New Romanなどの明朝系を使用して下さい. 特 殊なフォントは印刷できないことがありますので、できるだけ避けてい ただき、どうしても必要な場合はPDF作成の際に埋め込むようにして 下さい. 図中の説明等において小さな文字を使用する際にも、5ポイ ント未満の文字は避けるようにして下さい.

ヘッダーの研究大会に関する情報は変更しないでください. ヘッ ダー・フッター内の改行幅は10ポイントとします. フッターの罫線は削 除しないでください. 次の行から所属を左側に並べて書きます. フッ ターの右下には著作権表示があります.

ハイパーリンクの埋め込みは著者責任でお願いいたします.

2.4 演題

演題は12ポイントのゴシック系フォントを使用し、1行目に書きます . 副題が必要ならば2行目に記述して下さい. 副題の文字の大きさは 10.5ポイントとします. いずれも行間は14ポイントとします.

2.5 発表者氏名

発表者名は10.5ポイントの明朝体系フォントを使用し、3行目中央 に書きます. 連名の場合は講演者氏名の前に0印を付けて下さい. また、各々の右肩に1、2のように数字をつけ、所属と対応するようにし てください. いずれも行間は14ポイントとします.

2.6 見出しと本文

9ポイントのフォントを使用します. 大見出しは行頭から『1. はじめ に』のように書き、小見出しは『1.1 小見出し』などとして下さい、大 見出しと小見出しにはゴシック系,本文には明朝系のフォントを使用 します. 行間は13ポイントにして下さい.

2.7 図.表.写真

図と表は出てくる順に図1, 図2および表1, 表2などとします. 写 真は図として扱います. 図は下に説明、表は上に説明を付けます. 図・写真および表は自己のオリジナルなものを使い、鮮明なものを使 用して下さい. 要旨集のPDF化に伴い、カラーの図・写真も受け付け ます.

2.8 参考文献

参考文献の一覧を記す場合は、引用順に番号を付け、本文の末 尾に記述します、例にならって、著者名(発行年):文献名、雑誌名、 巻(号)、開始ページ-終了ページ、の順に記述して下さい、

3. 投稿要領

予稿はPDFファイルに変換し、大会ホームページの「研究発表登 録」から投稿して下さい、詳しくは大会ホームページ(https://sites.google.com/view/2024jcsir/)を参照して下さい.

参考文献

- 1) 伊豆田久雄, 生頼孝博, 山本英夫, 1988: 凍土の曲げ条件下に おける変形挙動と強度特性. 雪氷, 50(1), 25-32.
- 2) Pedley, M., J. G. Paren and J. R. Potter, 1988: Localized basal freezing within George VI Ice Shelf, Antarctica. J. Glaciol., 34, 71-77.

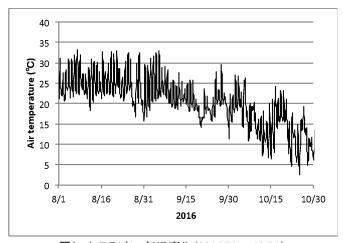


図1 十日町市の気温変化(2016/8/1~10/31)

¹ 雪氷大学大学院理学研究科 2 雪氷工業大学雪氷環境工学科 3 雪氷大学文学部